



2013年 こども読書週間

4月23日～5月12日

<今年の標語>

たくさん読んで 大きくなあれ

作者の落合正子さんのことば

「小さな子どもに絵本を見せている光景を見ると、微笑ましくなります。たくさん読んで、本と共に成長し、心から好きな本に出会えますように。そして大きくなったとき、思い出になるものであってほしいです。」



サントリー奨励賞受賞！おめでとう

喜界小学校 5年 吉行 郁海君

<毎日新聞社及び全国学校図書館協議会主催>

第58回青少年読書感想文全国コンクール

小学校高学年の部

～「わたしのひかり」刊・ルグ作/さくまゆみ訳を読んで～
作品は喜界町図書館に展示してあります。



<子ども読書週間の取り組みとして>

4月20日(土)からスタンプラリー・スタート！

「図書館おはなし会・イベントでダービー」に参加してスタンプをもらおう！

参加対象：こどもであればだれでもOK！

スタンプラリーカードはカウンターでもらえます。

☆ ☆10ポイント増えるごとに貸出冊数が1冊増える。

☆ ☆ゴールまでになんポイントゲットできるかな。！

☆

◎ 中・高・一般の読書マラソンも受付続行中です。子ども達に負けぬように奮ってトライしましょう。読書の風を喜界町から～（現在40人程度申込済みです）～

☆ 4月23日(火) スタート⇒・・・

☆

～ 第11回 図書館フェスタ～

日時 平成25年5月5日(日) 場所 喜界町図書館

○ 講話 「島唄のルーツをたずねて」(10:30～11:30)

講師 外内 淳さん/菅沼節枝さん/玉利トヨ子さんの3氏

今まで歌い継がれている喜界島の島唄を唄を囲んで語ってみませんか。

○ おはなしの森 (13:30～16:00) ☆ 参加した子どもに動物

・ペーパーサート人形劇

パルーンのプレゼントがあるかも！

・大型絵話/絵本 (図書館職員)

・みんなでゲーム (ボランティアグループころころ)

・こども長編映画鑑賞会

○ 古本のリサイクル市 (10:00～18:00)

購読雑誌のバックナンバーや廃棄済み図書など多くの古本を準備。1人で何冊でも購入することができます。

無料または一冊20円。喜界島で唯一の期間限定古本屋です。※学校再編によりいらなくなった学校図書館の本も販

売します。

<農業をする皆様へ・・・新しい雑誌の紹介>

4月から「現代農業」を置いています。ご活用下さい。

※骨粗鬆症に、疲れに「ヨモギジュース」の作り方等載ってます。



平成24年度入館者数・・・19,794人

年間貸出冊数・・・50,304冊

利用者数・・・9,854人

<5月のミニ映画予定>

11日 くまのミナクロと公平じいさん

18日 ねぎぼうずあさたろう巻之一①

25日 ねぎぼうずあさたろう巻之一②

○ おはなし会 毎週土曜日午後2時から

図書館カレンダー(5月)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

* **■** は、休館日です

・開館時間 午前10:00 ～ 午後6:00

・休館日 月曜日, 毎月第1木曜日,

《喜界島の旧跡を訪ねて》 ～八百年前の往時を偲ばせる七城址～①

「七城址」について記す前に平家落人の来島について述べる。

『平家没落由来書』（平家軍記）、硫黄島の『三所大権現鎮座本記』（島嶼見聞録所載）などによれば、安徳天皇は壇ノ浦の戦いの折、入水して果てられたと歴史上はなっているが、実は南海に逃れ硫黄島に安着せられ、ここに丸太造りの黒木御所を造営したとされている。それによると、ひとまず安住していたが1202（建仁2）年春に至り、白旗白印（源氏の旗印）の兵船が折々現れるので、長年仕えていた家来はことごとく島々に分散することになり、資盛、時房、景光、盛経らは「やな」国（奄美大島）に行くことになった。硫黄島に資盛城址があつて墓がないのは彼が「ヤナ」国へ行った証拠かもしれない。（一緒に行くことになった時房らの消息は全く伝わっていない。）一方、有盛と行盛は壇ノ浦の敗戦後安徳天皇のご一行と離れて山伏姿に身をやつし、豊前（今の福岡県東部、一部は大分県北部）、豊後（今の大分県の大部分）辺りを徘徊しているうちに、1203（建仁3）年3月、硫黄島から出てきた福原右馬介秀利と菊地次郎行吉の両人に巡り合い、主上のお便りを聞いて感泣し両名の用務に協力して、ともども硫黄島に渡ったが、側近の諸将が万一を考え、それぞれ南海に散ったと聞き、1205（元久2）年、側近を辞して資盛を慕って喜界島に渡ったとしている。

《平資盛一行の喜界島漂着》

手勢二百余名を率いて「ヤナ国」（奄美大島）に向かった資盛一行は、逆風に遭って喜界島の東北端沖名泊（ウチニャードウマイ）に漂着した。先ず、ここに上陸し、地勢を調べて志戸桶と佐手久の境にある増花田に居城を構え、七城と称した。当時築かれた保塁（敵の襲撃を防ぐため、石・土・砂などで固めた堅固な構築物・とりで）の跡は今もはっきり残っている。また、島の東部入り口の港、早町港からの敵の侵攻を抑えるため、塩道集落背後の要害の地にも塁（とりで）を築き、七城とともに攻守兼備の重要な拠点とした。現存する「平家森」である。

《七城について》

志戸桶の増花田の場所は、島の北端に近く、太平洋に面していて、標高約50メートル面積は約一反（10アール）である。海への視界は東側に約180度で、海を見張るには有利な地形といえる。城は東向きで東側は断崖、続いて急斜面があり佐手久集落の畑地へと続いている。西側は平坦な畑地になっている。（続きは5月号で） 参考文献：喜界町誌 H12・8、志戸桶誌（H3・2）、坂嶺集落誌（S63・4）（文責・登山典壽）

春の訪れ！！

4月は、新しいことがスタートすることの多い季節です。喜界町へ転入・転校された方そして、入学・進級された皆さん、おめでとうございます。新しい生活の一部に図書館も加えていただけますように。



【新着図書】



〈おとなの本〉

- 正義のセ 1・2・3・ 阿川 佐和子 著
- ジヴェルニ—の食卓 原田 マハ 著
- つくもがみ、遊ぼうよ 畠中 恵 著
- わかりやすいゲートボール—改正ルールに対応！
高橋 陸輔 著
- 常在戦場 一家康家臣列伝—火坂 雅志 著



〈子どもの本〉

- 世界を変えた建物 —子どもにも教えたい大人にも知ってほしい— クリステイーネ・バクスマン著
- くうこうではたらくくるま こもり まこと著
- マリアさんのトントントンタ 角野 栄子著
- 飛べ!マジカルのぼり丸 斎藤 洋 著
- うしろのダメラ あきやま ただし 文・絵

※ 新しいかみしばいもたくさんはまりました。

☆ なぞなぞだいすきシリーズ(びよこたんシリーズ)

☆ ワッハッハ!ゆかいでおかしい世界の民話

かめのえんそく(イギリスのおはなし) ほか

☆ みんなであそぼう!たのしもう!シリーズ